

とやま虹の会だより

<http://www.nijinokai.net/>



福祉のお仕事フェア 2018 開催!



[Chan Chan CO]



介護男子



- 7月15日に富山国際会議場で「福祉のお仕事フェア 2018（主催：富山県社会福祉協議会）」が開催されました。当日は110名の学生と一般の方が参加されました。
- 虹の会のブースはこの日のために作った「ChanChanCo」（おじいちゃん・おばあちゃん・こみゆにてい）と介護男子のポスターや装飾で、ブースの中でも目立っていました。
- ブースにはとやま虹の会に興味を持ってくださった方が、たくさん来ていただきました。
- 富山県内の介護の有効求人倍率は5倍を超えています。他業種に比べて圧倒的に高い求人倍率ですが、介護の仕事をする私たちが、介護の魅力や素晴らしさを発信していくことで、少しでも介護の仕事を目指す人が増えることを願っています。
- **施設見学も随時受け付けております。**

ユニット型特別養護老人ホーム

しらいわ苑



〔連絡先〕富山市水橋新堀17番地の1 TEL 076-479-2080

ふく福ユニット

ユニットスローガン

「明るい声が聞こえ落ちつける環境で

ゆっくりとやりたいことができる。」

（やりたい意欲を引き出し、思いに寄り添い、みんなが元気に明るく過ごせる場所）



ユニット名の「ふく福」は、「ふくふくと、おおらかに、明るく過ごす福の神」のイメージで付けました。

スローガンは、ふく福におられる入居者の「やる気・元気・勇気」を引き出し、生きることによって喜びを感じて貰いたいと、何か月もかかって決めました。

生き生きとした表情で自分らしく生きる。そんな暮らしが送れるユニットでありたい。気負うことなく、当たり前な生活を当たり前で送れる、そんなユニットを作れるよう努めてまいります。

また、ふく福では「雑誌・手芸用品・設え物品など」不足しています。皆様のご協力を頂ければ幸いです。

歩行リハビリ真最中! /



中庭でお話し



コースターづくり



中庭



個室



浴室



共同生活スペース



ほのかユニット



繕いはおまかせ!



ユニットスローガン

「慌てない、慌てない。ひと休み、ひと休み。」

（慌てずに、同じ時間をすごしつつ、思いに寄り添い一休み）

日々の介護で、覚えやすいものを。と言う事で、職員で決めたスローガンです。独りひとりの生活リズムに合わせ、のんびりゆっくり時間を送り、みんなで助け合いながら暮らして行けるユニットでありたいと思っています。一緒にお茶を飲む自分の家のような、やりたかったことも出来なかったことも、協力しながら出来るような、楽しく嬉しい関係が持てるユニット作りをしていきたいと思っています。

ユニットになって、馴染みの関係が出来始めました。職員や入居者さん同士の会話も増え笑顔が見られるようになっていきます。



今日は何日?



昔を思い出し、話に花が咲く



介護老人保健施設

レインボー

[連絡先] 富山市水橋新堀1番地 ☎076-478-4784



入所/ショート

今日は○連チャン!!

「昔、旦那と一緒にパチンコに行っていたよ」と嬉しそうに玉をうつ後ろ姿が。
 「元気な頃はパチンコを楽しんだ。病気で右麻痺になり諦めていたが、久しぶりに出来て良かった」と笑顔で当時のことを話される方も。
 又、100歳を超える方も夢中になったりと、それぞれ人生のパチンコの情景がうかぶようでした。
 またやりたい!という言葉に職員も元気をもらいました。



デイケア

EVENT

スイカ割りで残暑を吹き飛ばそう!!



8月、ご家族から手塩にかけて育てた大きなスイカをいただき、レインボーデイケアにて、スイカ割りを行いました。

皆さん日ごろのリハビリの効果を十分に発揮され、ものすごい勢いで棒を振り下ろしスイカを割ろうと必死でした。童心に返ったように無邪気な表情が見られ、楽しんでおられました。

割れたスイカは真っ赤、甘くて瑞々しく、味も最高!綺麗にカットして、利用者の皆さんで美味しくいただきました。

スイカご馳走様でした!



デイサービス

かけはし

[連絡先] 富山市水橋中村町2-2 ☎076-478-4003



EVENT

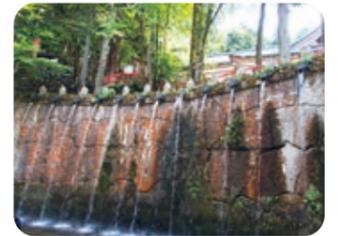
①毎年恒例の、大岩山への外出会に行ってきました。

今年は、猛暑や大雨の日が多かったという事もあり利用者の皆様の体調を考慮して、本堂へのお参りは断念し、十二支滝で涼を取り夫婦岩を車窓より眺めました。

十二支滝の周りは、とっても涼しくありがたい気持ちにさせてくれます。滝のイオンを浴びたのちは、待ちに待った大岩名物に直行です。

毎年変わらぬ美味しいそうめんや、あずき白玉などを頂きました。今年は、テレビで放映されたこともあってか、県外ナンバーの車も多く、たくさんの人でにぎわっていました。

皆さん、「お昼ご飯食べたけど、スルスルーっと食べれるわー」とそうめんを美味しく、ほおばっておられました。



私の干支の滝はどれかなー?



来年も、元気で来られますように!



夫婦円満でありますように...合掌



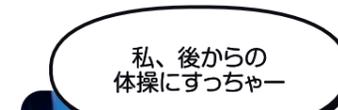
職員も一緒に、いただきます!

②自分でやりたいことを自分で選んでいます!! “元気が湧くかけはし”の第一歩です。

先月からの取り組みとして、利用者さん自身で、午後の時間の過ごし方を選んでいただいています。今までは、職員が一人一人に、午後の予定を尋ねていましたが、先月より、利用者の方で自身で、お買い物があるかないか、体操の時間は何時からがいいのかを選んでいただいています。

最初の内は、皆さん慣れず、職員からの声かけがないと、なかなか自分からはされませんでした。徐々にご自分からされる方が増え始め、定着しつつあります。

これからも、“元気が湧くかけはし”であるように、色んな取り組みを考えていきたいと思ひます。



午後からの予定を決めています。



EVENT

「みんなで楽しく回想法」

過去の懐かしい思い出を語り合ったり、誰かに話したりすることで、脳が刺激され、精神状態が安定したり、認知機能が改善することが明らかになっています。

やすらぎの郷でも、日々のレクリエーションに回想法を取り入れ、グループで行っています。昔の行事の様子や道具など懐かしく感じる写真や利用者の皆さんが若い頃に流行っていた映画や音楽のDVDを使って、過去を思い出しやすいように工夫しています。

回想を行うと、自分の過去の記憶がよみがえり、本人らしさを取り戻すことや自分の価値を再発見することがあるそうです。また、同じ世代のつながりを体験することができ、「話す」「聞く」ことがとても活発になります。懐かしい話を通して、利用者さんが穏やかに過ごし、認知機能の低下を予防するためにこれからも回想法を行っていきたいと思います。



「この曲をご存知ですか？」

「昔、よく歌ったちゃ。」

姉さんかぶりって
いうがだよ～

この写真の女性は何か
頭にかぶっていますね。

永年勤続 10 年表彰

富山県老人福祉施設大会がクロスランド小矢部で開催され、しらいわ苑の職員3名とやすらぎの郷職員1名が、永年勤続10年表彰を受けました。

おめでとうございます。長年お疲れ様でした。これからも一緒に頑張りましょう。



喫茶で Wi-Fi が利用できます。

地域交流スペースにある喫茶で、FreeWi-Fiが使用できるようになりました。

災害対策や地域貢献や福利厚生で使用していきたいと思えます。

喫茶にお越しの際はぜひWi-Fiをご利用ください。



パチンコ台を寄付していただきました。

パチンコ店のマルハン富山店さんからぱちんこ台 計10台を寄付していただきました。しらいわ苑デイサービスに3台、レインボーデイケアに3台、デイサービスかけはしに2台、サロン梅の湯に2台の計10台です。

授与式には県内のテレビ局が取材に来られ、ニュースで放送されました。年配の方に人気の機種ばかりで、楽しみながら介護予防に役立てていきたいと考えています。利用者さんも早速遊戯を楽しんでいました。人気の台は順番待ちができるほどです。

マルハンさんありがとうございました。



園児たちの歌や手遊び 心和む オレンジカフェ水橋



6月28日のオレンジカフェ水橋に、地元三郷保育所の園児さんたちが初めて訪問され、参加者20人と歌や手遊びなど楽しいひと時を過ごしました。園児たちは「かたつむり」や「カエルの合唱」などの童謡を元気よく歌い、参加者とペアになって肩たたきや手遊びをしてふれあいました。

これまでオレンジカフェ水橋は、認知症の人やその家族、独居の高齢者らに気持ちが和らぐ場所を提供し、認知症予防や介護ストレスの解消につなげようと、昨年3月にスタート。民生委員らが運営委員となり、毎月第4木曜日の午後、喫茶にて、ブローチづくりやそば打ち体験などを行ってきました。

これからも毎月1回のペースで、臨床美術や歌声喫茶など多彩な催しものにチャレンジして、誰もが集える場所をめざします。

水橋橋まつり150年、米騒動100年の郷土史座談会 サロン梅の湯

ことしは水橋橋祭り150年と、米騒動100年の節目の年。サロン梅の湯では6月22日、「水橋歴史友の会」と共催で、郷土史研究家の大村歌子さんを座長に郷土史座談会を開きました。

北日本新聞の大村さんの記事(米騒動100年)を見て、滑川や高岡から(米騒動目撃者の滝川弥左衛門さんのご子息)も参加されました。橋まつりは地元ならではのエピソードが披露され、盛り上がりました。また参加者は、大村さんの「“騒動”という暴力をイメージするが、実際は言論で迫った消費者運動ととらえるべき」との言葉に納得した、と語っていました。

